

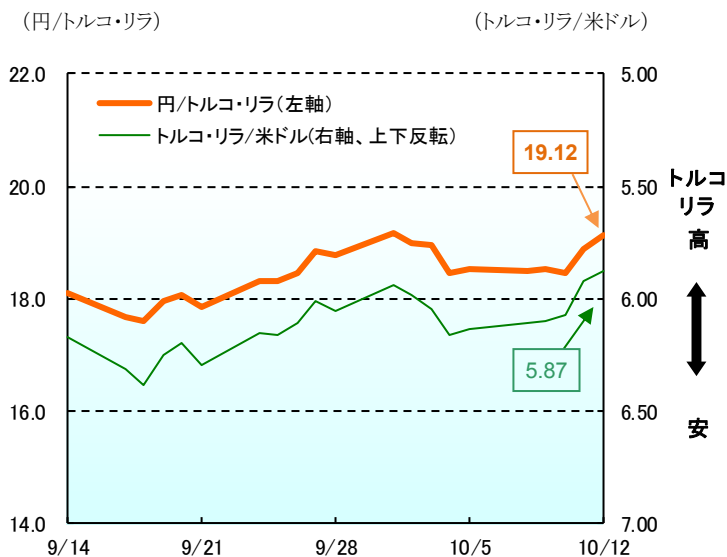
### 【2018年10月6日～2018年10月12日までの推移】

#### 【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに上昇しました。トルコの2年国債金利は上昇しました。

先週のトルコ市場は、米国との関係悪化の主因の一つであった米国人牧師の拘束について、10月12日（現地、以下同様）の聴聞後に釈放されることを織り込んで、トルコ・リラは対米ドル・対円ともに上昇しました。実際、米国人牧師は自宅軟禁を解除され、帰国の途に就きました。経済指標では、11日に発表された8月の経常収支は2015年9月以来の黒字に転じました。急速なリラ安でトルコ旅行が割安となったことが貢献し、サービス収支の黒字が大幅に拡大しました。

#### 【トルコ・リラ 為替推移】（2018年9月14日～2018年10月12日）



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

#### 【2】今週の見通し

主な懸案事項の一つであった米国人牧師が釈放されたことや、トランプ米大統領の攻撃の矛先がサウジアラビアに移ったことで、今週のトルコは材料に乏しく、安定的に推移しそうです。

経済指標では、財政収支や鉱工業生産が発表されます。財政赤字の拡大基調や生産活動の停滞は市場ではある程度予想されていると考えています。市場の関心は今月25日に予定されている金融政策決定会合に向いており、18日にトルコ中央銀行から発表されるインフレ期待調査およびエルドアン大統領による高金利批判があるかどうか注目しています。

#### 【トルコ 金利推移】（2018年9月14日～2018年10月12日）



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>